

# 福島第一原子力発電所 FタンクエリアI4、I7タンクフランジ部からの水の漏えいについて

< 参 考 資 料 >  
2021年4月26日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 【概要】

- 昨日（4月25日）午後3時9分頃、FタンクエリアI4・I7タンク本体のフランジ部最下部から、水が滴下していることをパトロール中の協力企業作業員が発見しました。
- 滴下した水はタンク内に貯留している、5.6号機滞留水であり、滴下範囲はI4タンクで、約20cm×約10cm×深さ約1mm、I7タンクで約60cm×約50cm×深さ約1mmです。
- 滴下した水はFタンクエリアの堰内に留まっていること、および敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。
- また、漏えいした水が拡大するのを防止するため、同日午後5時0分頃、現地に水受けを設置して滴下する水を集水しております。
- なお、当該漏えい水については、直近（2021年3月18日）に採取したタンク内包水の分析結果から、セシウム-134： $1.78 \times 10^0$  Bq/L、セシウム-137： $4.61 \times 10^1$  Bq/L、全ベータ： $1.93 \times 10^3$  Bq/Lであることを確認しています。（I7タンクから採取したもの。なお、I7タンクとI4タンクは同じタンク群であり、同じ時期に水を貯留している）
- 今後、フランジ部から水が漏えいした原因を調査するとともに、応急的な対策として止水材にて漏えい箇所を補修してまいります。また、準備が整い次第、タンクの内包水をエリア内他タンクへ移送してまいります。

Fタンクエリア位置図



I4タンク漏えい箇所



(滴下状況) 25秒に1滴程度で滴下

I7タンク漏えい箇所



(滴下状況) 5秒に1滴程度で滴下